

群馬県支部

群馬県内の経営革新計画承認企業の取り組みと課題について

1. 経営革新計画取り組み状況
 - ・平成 11 年の中小企業経営革新支援法の施行以来、平成 23 年 8 月末現在、全国の承認件数は 46,487 件。
 - ・群馬県における経営革新承認件数は同期に 620 件、10 月末現在 627 件。
地区別には中毛 196 件 34%、東毛 179 件 31%、西毛 171 件 29%、北毛 35 件 6%
業種別には製造業 351 件 60.1%、サービス業 114 件 19.5%、建設業 74 件 12.7%、卸小売業 45 件 7.7%。
 - ・承認件数が中小企業数に占める割合は 0.8%で、全国平均の 1.11%、関東経済産業局管内平均の 1.13%に比べて低い。
2. 主なアンケート結果
 - ・承認後の売上高及び経常利益の推移はほぼ同じ傾向で、それぞれ、増加が 42.9%、36.6%、横ばいが 30.9%、35.6%、減少が 12.6%、13.1%となっている。
 - ・経営革新計画の取得目的は「業績向上のため」が 70.7%と最も多く、融資等の優遇措置は 53.9%を占めた。
 - ・経営革新の具体的目標は「販路の拡大」が最も多く 58.6%を占め、次いで新技術の開発 29.8%、新製品・商品の開発販売 19.4%、事業の再構築 18.3%であった。
 - ・受けた外部支援は中小企業診断士 20.9%、政府系金融機関 18.8%、商工会（連合会）14.1%、商工会議所 10.5%の順であった。
 - ・計画承認後に融資を受けられた割合は政府系金融機関 45.0%、民間金融機関 40.3%で計画の承認が直ちに融資に結び付くとは言えない。
 - ・経営革新制度の満足度は「良い」32.5%、「やや良い」37.7%となっており企業の総合的な評価は高い。
3. 今後の課題
 - ・企業が経営革新計画を社員の間で共有し、推進することの重要性を周知する。
 - ・経営革新計画の進捗状況を把握し、計画をフォローアップする施策を充実強化する。
 - ・販売促進や新技術・新商品開発の活動を支援する各種施策を拡充する。
 - ・企業情報の開示等を通じて金融機関や支援機関とのコミュニケーションを円滑にし、信頼関係を築いて効果的な支援やビジネスチャンスを拡大する。
4. 提言
 - ・経営革新事業の充実：業界団体や支援機関による取り組み強化、経営規模や経営能力に応じた対応と広範な普及。
 - ・企業に求められること：気づき力を磨く、信頼関係を築く、経営計画の立案・実行力を磨く。
 - ・販路開拓：経営革新承認企業の最多の目標となっており、支援策を一層充実する。
 - ・新商品や新技術の開発・導入：公的研究機関や大学の活用促進、企業間の地域連携。
 - ・金融支援：コンサルティング機能の強化、中小企業診断士等と連携した支援、ビジネスマッチング能力の向上やイベントの開催。
 - ・フォローアップの充実と中小企業診断士等の役割：企業への情報提供、経営革新推進フォーラムの開催、経営革新研修の充実、経営革新エキスパート経営者の認定、ぐんま中小企業経営研究クラブ（仮称）の結成等による経営革新運動の展開。